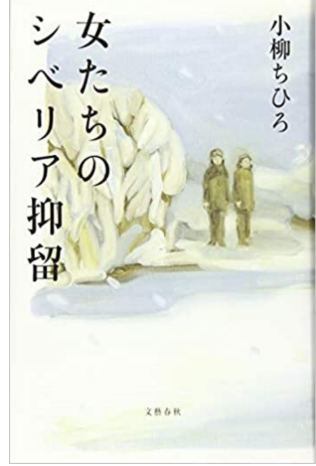


書籍紹介

「女たちのシベリア抑留」

小柳ちひろ著 文藝春秋発行



この本は2014年8月12日にNHKで放映された「BS1スペシャル 女たちのシベリア抑留」の取材をもとに書き下ろしたものである。8つの章からなっているが、大半はソ満国境に近い佳木斯（ジャムス）の第一受け収容所へ送られた女性たちと、陸軍病院の看護婦たちが軍としてシベリアに抑留さ

れ抑留先でロシア語通訳であったが、どんな仕事これらの者はみなスパイだをしていたとみなされ、逮捕、投獄さか、そしてられたのである。

日本に帰って、佳木斯（ジャムス）本赤十字や護婦と電話交換手、タイピ日本政府が護婦と電話交換手、タイピ

彼女たちにストなどの女子軍属も働いていた。

そして昭和20年7月1日、看護婦不足を補うため、補助看護婦の「挺身隊」として佳木斯（ジャムス）近郊から150名の少女たちが

病院に集められた。この1二は女」と書かれていた。虎林陸軍病院の看護婦

が女を求めてやってくるたが女を求めてやってくるたが女を求めてやってくるた

に、床下に看護婦たちを

隠して徹底的に抵抗した。ソ連兵が立ち去ると、「婦長だけ残れ」と呼び出され、

「俺たち軍人は命より大事な軍刀を手放した。女の貞操くらい何だ」と往復ビンタを加えられた。

杏樹陸軍病院でも同じようなことを病院長から言われ、婦長の三福君子は、

「軍が滅びて軍刀を捨てるのは当然です。私たちは大和撫子です。操は生きてい

る限り守らねばなりません。『操を提供しろ』と言うのであれば、あなたの奥さん

から先に出すべきでしょう」と言い、ようやく病院長は引き下がったのだという。

9月下旬、方正から船に乗りせられ、日本へ帰れると

中では一番印象に残ったのは北極海にそそぐコリマ川の第八章で書かれているアー

流域で金鉱脈が発見され、ニヤおばさんの話だ。アー

スターリン政権下で政治犯の収容所が300余りも作

られた。その収容所の実態は1923年生まれ。元山はグラスノスチの後、発行された「極北コリマ物語」などで紹介されている。

エリゲン収容所で5年余り生き抜き、1955年8月26日、釈放された。彼

女は日本への帰国を拒否し、ソ連国籍を取得し、マガダ

ン近郊のハスイン村にずっと住んでいた。ウクライナ

人男性と結婚したが、1975年に夫は病気で亡くなっ

たのがきっかけである。

その後、彼女は日本人記者の取材に答え、昭和17年

渡ったということが明らかになった。秋子は「一家の家計を支える」ために外地

へ売られたのではないだろ

うか。

秋子ではないが、ソ連軍の士官から「女を出せ」と

言われたときに、芸者の姉妹が「皆さんの為になるのでしたら」と自ら犠牲になっ

たという話もある。

また長野県黒川村の満蒙開拓団で終戦の時、団の幹部はソ連軍に開拓団を守つ

てもらおう見返りに、12名

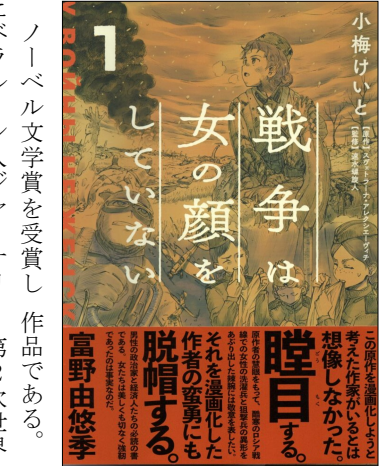
の未婚女性をソ連軍の接待係として差し出したとい

う。ソ連軍の接待をして開拓団を救った女性たちは帰

国後、そのせいで中傷されるなどして、村を離れた女

性もいるという。

（田口龍司）



「戦争は女の顔をしていない1」小梅けいと作画

本書では洗濯兵、狙撃手、医者、高射砲兵、飛行士、機関士など様々な役割を果たした女性たちの物語が漫画で描かれており、戦争を体験したり、聞いたりしたことのない若い人たちにもわかりやすいのではないだろうか。この漫画を読んで関心を持たれたら、ぜひ原作も読んでほしい。

ノーベル文学賞を受賞した史上初のジャーナリスト スヴェトラナ・アレクシエヴィッチの同名作品を漫画化

「戦争は女の顔をしていない」の中から7つの話を漫画化したのが本書である。

（田口龍司）

愛知県連諸行事中止のお知らせ

- 新型コロナウイルス感染防止のため 次の行事を中止することとしました
- ・第75回ロシア語能力検定試験 5月30日（土）、5月31日（日）
 - ・検定試験直前対策講座 5月17日（日）
 - ・第65回愛知県連総会 6月7日（日）



訃報

初瀬和彦先生



2019年10月30日に92歳でご逝去されました。慎んでご冥福をお祈りします。

愛知県連のロシア語講師として活躍され、柔らかな人当たりとやさしさで人気の先生でした。2014年5月22日には、かつての教え子たちが集まり、「初瀬先生を囲む会」を開きました。

愛知県連事務局の閉鎖について

新型コロナウイルス感染防止のため4月15日から5月6日まで、火曜日、木曜日、土曜日は事務局を閉所します。ご迷惑をおかけしますが、御用の方は月曜日、水曜日、金曜日にお越しください。

（田口龍司）